

2011年3月期

決算説明資料

レシップホールディングス株式会社

LECIP
GROUP

2011年 5月

レシップグループの体制

- ▶ 2010年10月：純粋持株会社体制へ移行：レシップホールディングスとして、新たなスタート。レシップインターナショナル新設。
- ▶ 2011年 4月：レシップを会社分割：レシップエスエルピー、レシップエンジニアリング新設。



▶ 1. 2011年3月期 業績概要・主な項目の進捗状況:P 4～P17

■ 2. 2012年3月期 通期業績の見通し・配当の状況:P19～P21

■ 3. 中長期的な成長に向けた取り組み:P23～P30

■ **【ご参考資料】:P32～P39**

- 会社概要・事業内容・主なトップシェア製品
- 主な経営指標の推移
- 上期・下期別の業績推移
- 四半期ごとの業績推移

全般概況

■ 前期比: 減収  増益 

- ▶ 売上高は、輸送機器事業と、S&D事業の落ち込みにより、減収となったものの、利益面は、全社的な経費削減活動が奏功し、増益

セグメント別業績の概況

⚡ マイナス要因

- 輸送機器事業**
 - 各事業者様の設備投資の先送り傾向続き、主力のバス市場向け製品が、総じて低迷
 - 競争激化等による製品単価の下落
- S&D事業**
 - 前期に実施した事業再編に伴い、米国向けネオン変圧器の売上が減少
 - LED電源の販売が伸び悩む

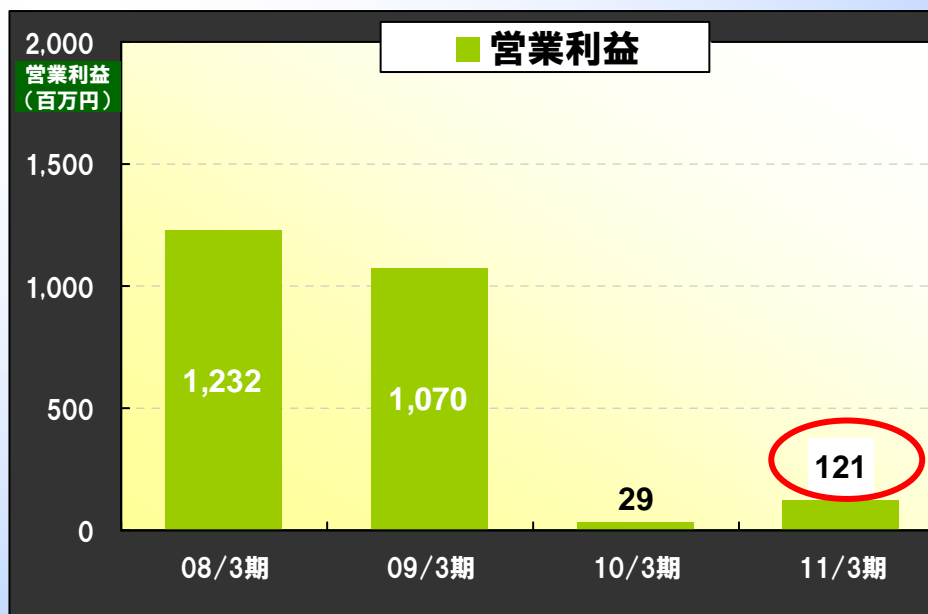
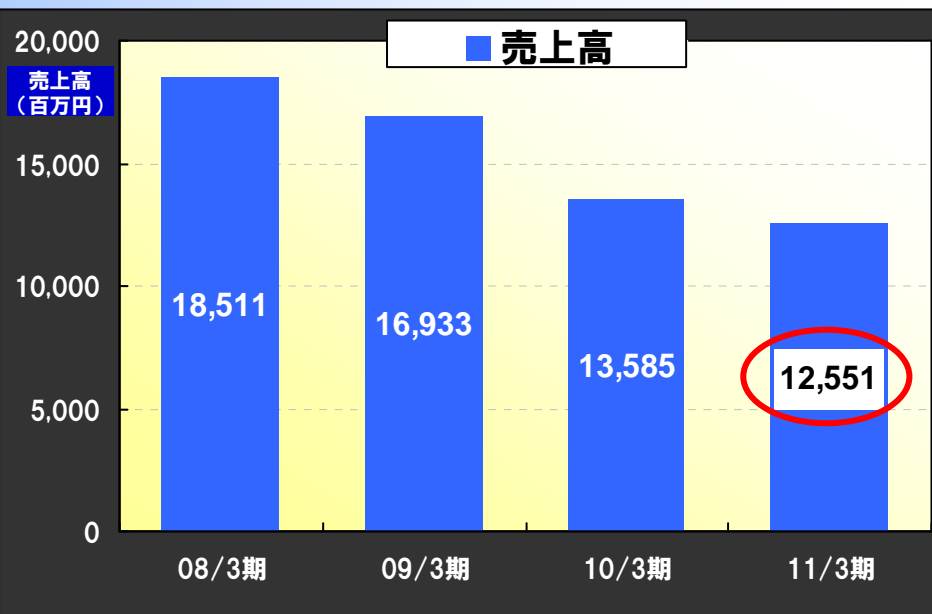
➡ プラス要因

- 産業機器事業**
 - 設備投資の回復を受け、バッテリー式フォークリフト用充電器が増加
 - 連結子会社レシップ電子の自動車用電装品向けプリント基板実装が増加

2011年3月期 連結業績の要約



【連結】 通期業績 (単位:百万円)	2010年3月期		② (10年5月) 当初発表 業績予想		③ (11年4月) 修正発表 業績予想		2011年3月期		前期比 増減額 ④-①	前期比 増減率
	① 前期実績	構成比	④ 実績	構成比						
売上高	13,585	100.0%	14,700	12,549	12,551	100.0%	▲1,034	▲7.6%		
売上総利益	2,691	19.8%	—	—	2,469	19.7%	▲221	▲8.2%		
営業利益	29	0.2%	525	112	121	1.0%	+91	+310.2%		
経常利益	64	0.5%	565	147	154	1.2%	+90	+141.7%		
当期純利益	41	0.3%	335	25	46	0.4%	+5	+12.1%		



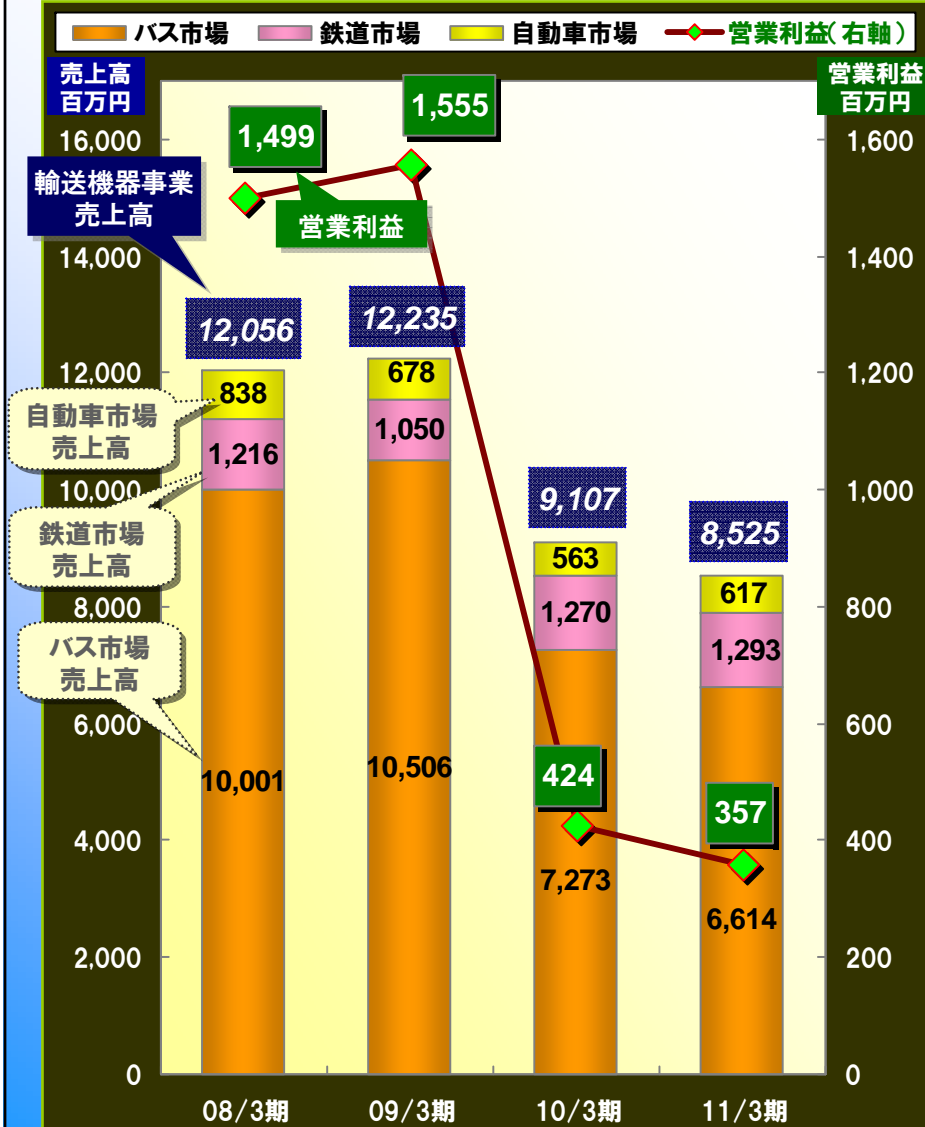
2011年3月期 セグメント別業績



売上高 (単位:百万円)	2010年3月期		2011年3月期			
	前期実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
輸送機器事業	9,107	67.0%	8,525	67.9%	▲582	▲6.4%
S&D事業	1,380	10.2%	825	6.6%	▲554	▲40.2%
産業機器事業	3,097	22.8%	3,181	25.3%	+83	+2.7%
その他事業	—	—	19	0.2%	+19	—
連結売上高	13,585	100.0%	12,551	100.0%	▲1,034	▲7.6%

営業利益 (単位:百万円)	2010年3月期		2011年3月期			
	前期実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
輸送機器事業	424	456.6%	357	186.9%	▲66	▲15.7%
S&D事業	▲209	▲225.0%	▲230	▲120.7%	▲21	—
産業機器事業	▲122	▲131.6%	64	33.7%	+186	—
その他事業	—	—	0.1	0.1%	+0.1	—
計	92	100.0%	191	100.0%	+98	+105.9%
消去・全社	(63)	—	(70)	—	+6	+10.6%
連結営業利益	29	—	121	—	+91	+310.2%

輸送機器事業：売上高・営業利益の推移



■ 売上高 : 前期比 ▲ 5億82百万円 ▲ 6.4%
■ 営業利益 : 前期比 ▲ 66百万円 ▲ 15.7%

バス市場製品売上高

前期比: ▲ 6億59百万円(▲9.1%)

- ▶ 業界内の設備投資先送り傾向
- ▶ 競争の激化等による製品単価の下落
- ▶ 運賃箱、OBCなど主力のバス市場向け製品が大きく減少



鉄道市場製品売上高

前期比: + 23百万円(+1.8%)

- ▶ 北陸地区のICカード関連機器が一巡するも、列車用灯具、OBCなどは、増加



自動車市場製品売上高

前期比: + 53百万円(+9.6%)

- ▶ トラック販売台数の回復に伴い、蛍光灯具、LED灯具が増加



バス用ICカードシステムの全国展開

- 2011年3月期は、ほぼ前年並みの売上実績
 ➡ 名古屋地区、新潟地区、大分地区、富山地区などへ納入
- 今期2012年3月期は、納入の谷間となり、減少予想
- 導入のペースが鈍化したものの、全国的には、普及途上
 ➡ 引き続き、これまでの実績を追い風に全国展開を推進

バス用ICカードシステムの売上推移

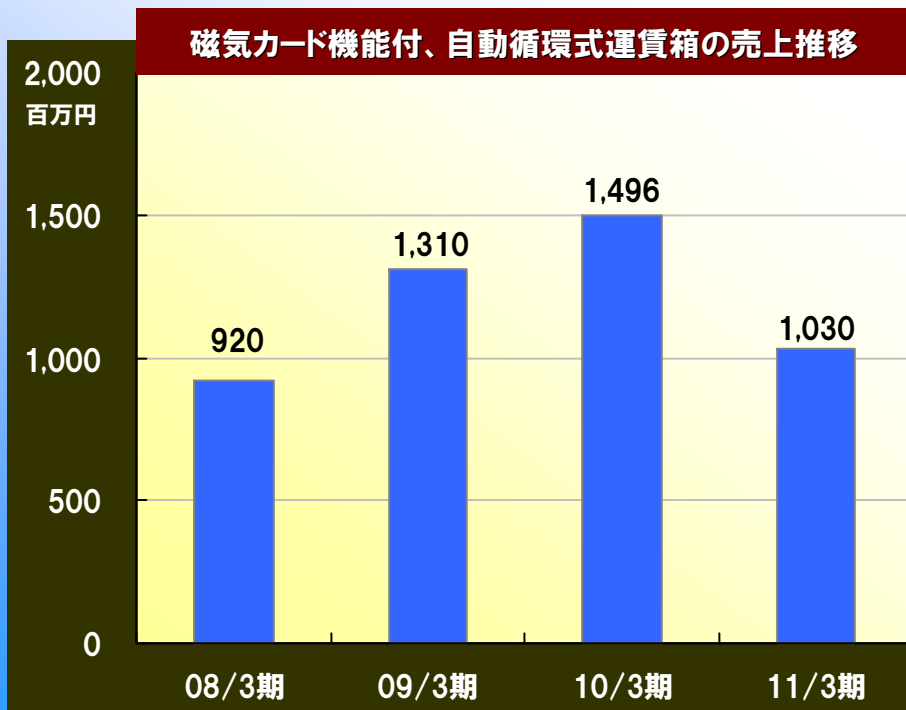


ICカード対応運賃箱・ICカードリーダー・ライタ



バス用運賃箱（磁気カード読み取り機能付運賃箱、自動循環式運賃箱）

- 2011年3月期は、業界内の設備投資の先送り傾向が続くなか、競争の激化等による単価の下落なども影響して、低調に推移
- 将来的な布石として、着実に受注を進め、シェア拡大に成功
➡ 今後、ICカードシステム等、その他関連製品の拡販に繋げていく



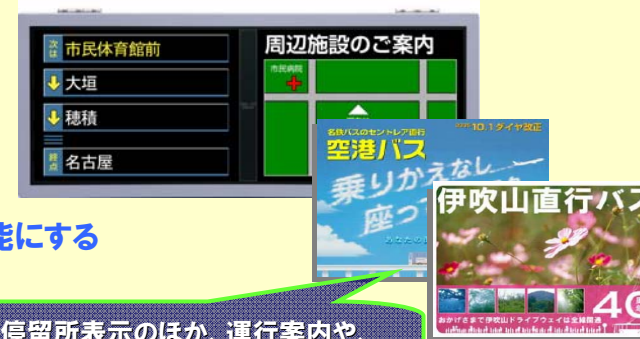
車載用液晶表示器OBC(オン・バス・コンピュータ)

● 2011年3月期は、前年にあった大口物件の一巡等もあり、導入一服

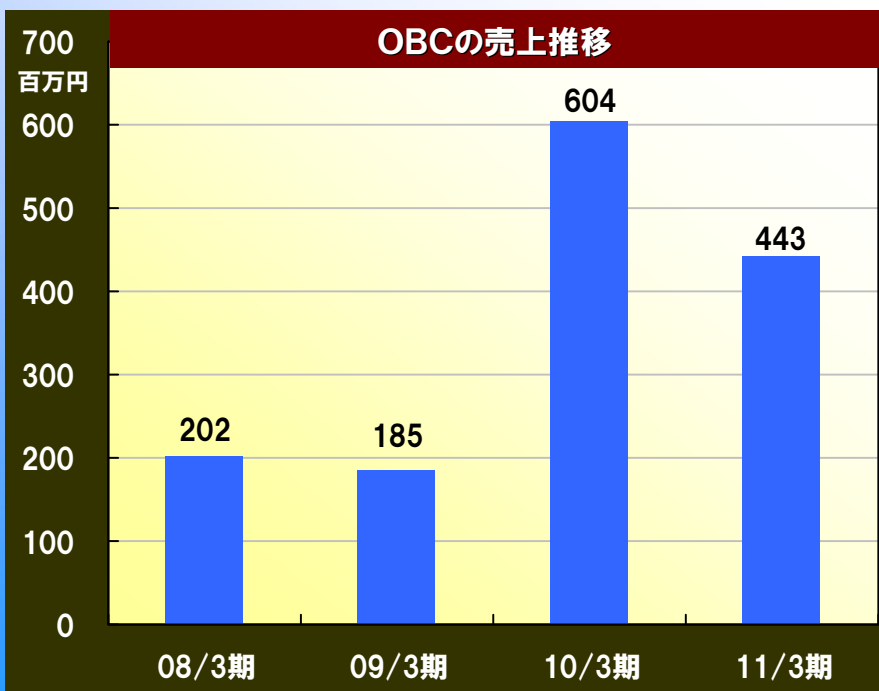
● OBCを活用した新たな展開を推進

➡ 運行情報や乗換え・接続案内等、多くの有益な情報のリアルタイム配信を可能にする「乗客運行情報伝達システム(PIS)」

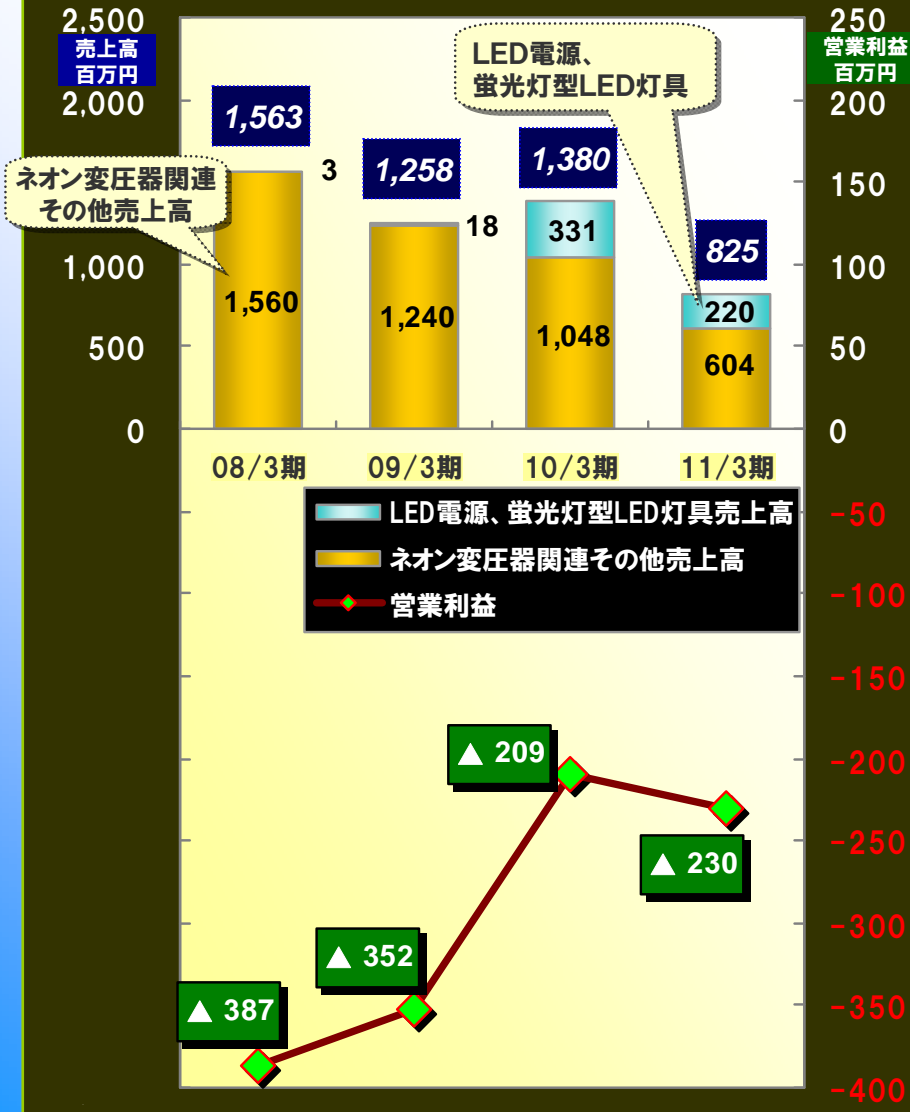
➡ 路線バスにおいて、広告やニュース・天気予報などの表示を行うデジタルサイネージ「バスチャンネル」



運賃・停留所表示のほか、運行案内や、ニュース、CMなど多彩な情報配信が可能。



S&D事業:売上高・営業利益の推移



▲ 売上高 : 前期比 ▲ 5億54百万円 ▲40.2%
▲ 営業利益 : 前期比 ▲ 21百万円 -

ネオン変圧器関連その他

前期比: ▲ 4億43百万円 (▲42.3%)
 ▶ ネオンサイン市場の低迷
 ▶ 前年に実施した事業再編に伴い、米国向けネオン変圧器の売上が剥落 (▲ 2億53百万円)



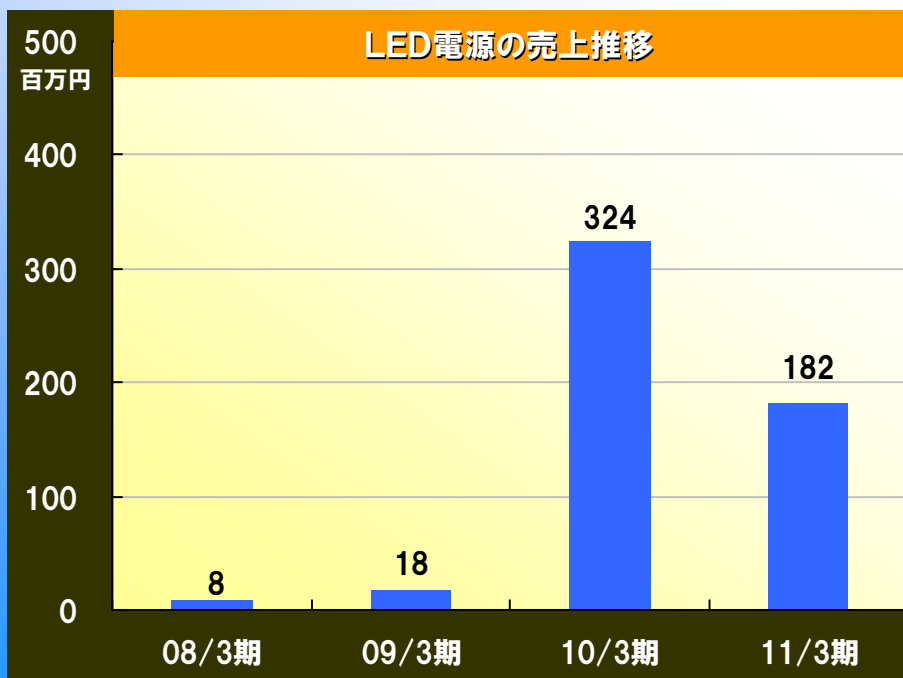
LED電源、蛍光灯型LED灯具

前期比: ▲ 1億11百万円 (▲33.5%)
 ▶ LED電源は、販売が伸び悩み、減少 (▲ 1億41百万円)
 ▶ 蛍光灯型LED灯具は増加 (+ 30百万円)



LED電源

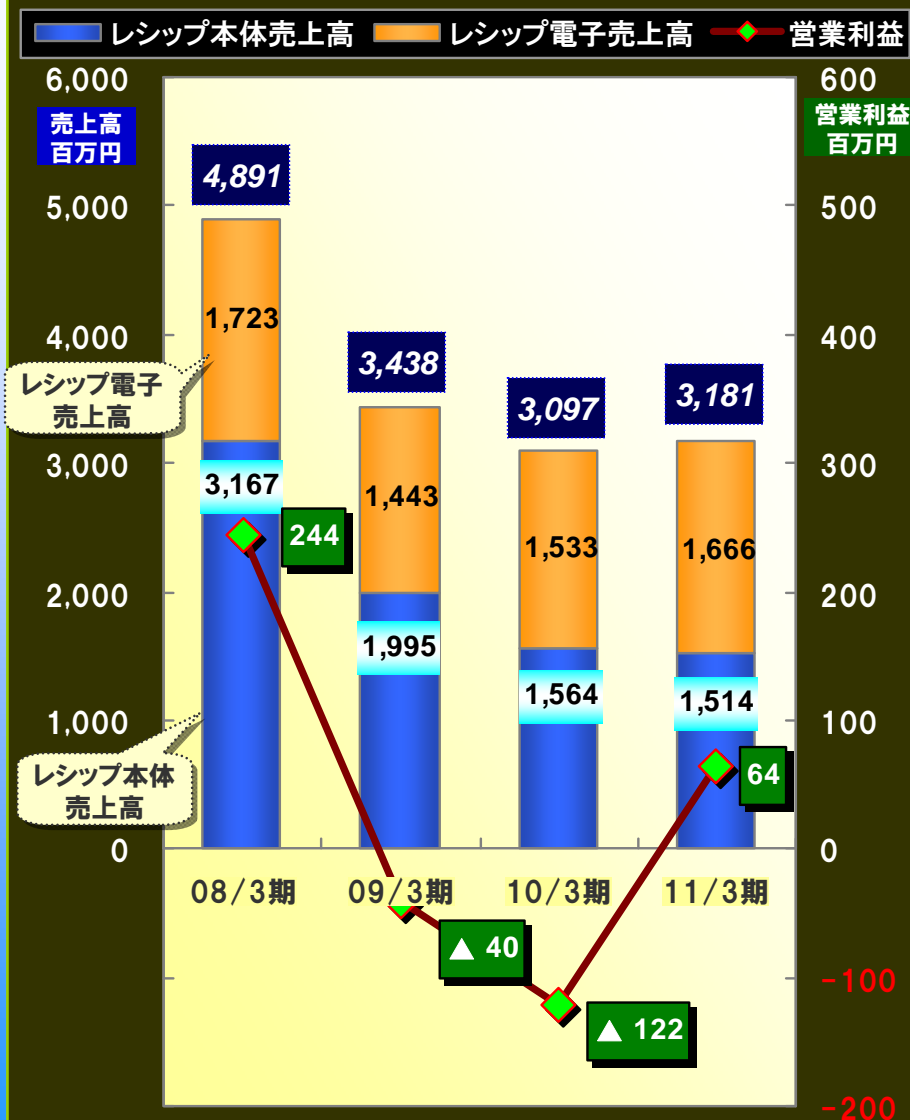
- 2010年3月期は、省エネ法改正も追い風となり、大きく拡大
 → コンビニ店舗のLED看板、店舗やオフィス等の照明として普及が進む、蛍光灯型LED灯具向けに採用される
- 2011年3月期は、販売が伸び悩み、減少
- 今期2012年3月期は、節電・省エネ意識の高まりから、LED照明の採用が活発化するなか、
 拡販活動を強化し、売上の拡大を図る
 → 照明器具メーカー様のラインアップ拡充、LED関連市場の急速な拡大が予想される



LED電源と蛍光灯型LED灯具



▶ 産業機器事業：売上高・営業利益の推移



■ 売上高 : 前期比 ↗ + 83百万円 + 2.7%
■ 営業利益 : 前期比 ↗ + 1億86百万円 —

フォークリフト用充電器

前期比: + 1億27百万円(+21.3%)

▶ フォークリフト販売台数の回復



無停電電源装置

前期比: ▲ 74百万円(▲27.9%)

▶ 前年にあった更新需要の一巡



物販共用読み取り端末

前期比: ▲ 57百万円(▲77.0%)

▶ 流通業界における新規出店の手控え続く



レシップ電子・プリント基板実装

前期比: + 1億33百万円(+8.7%)

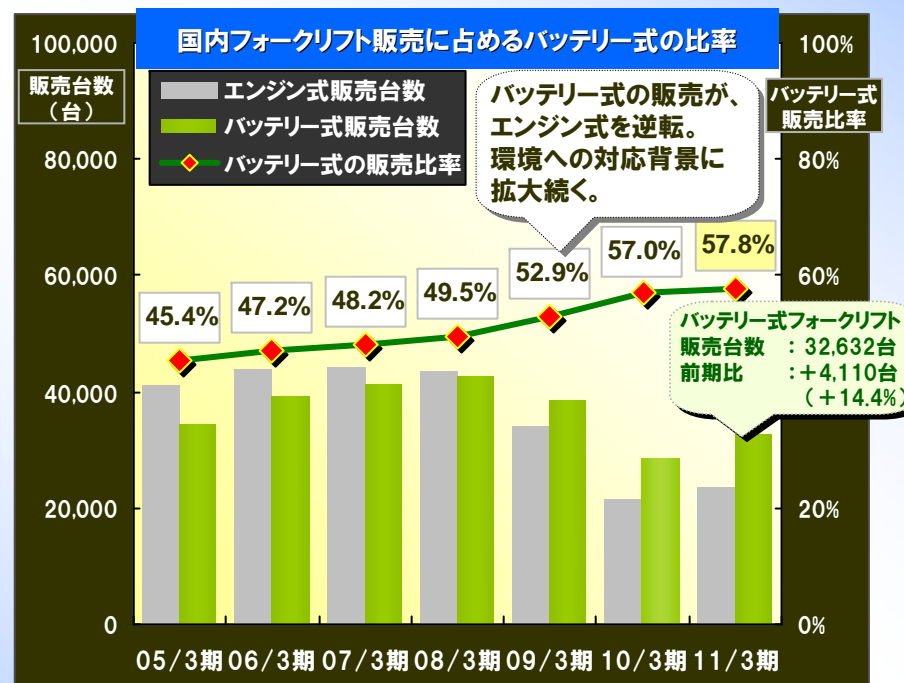
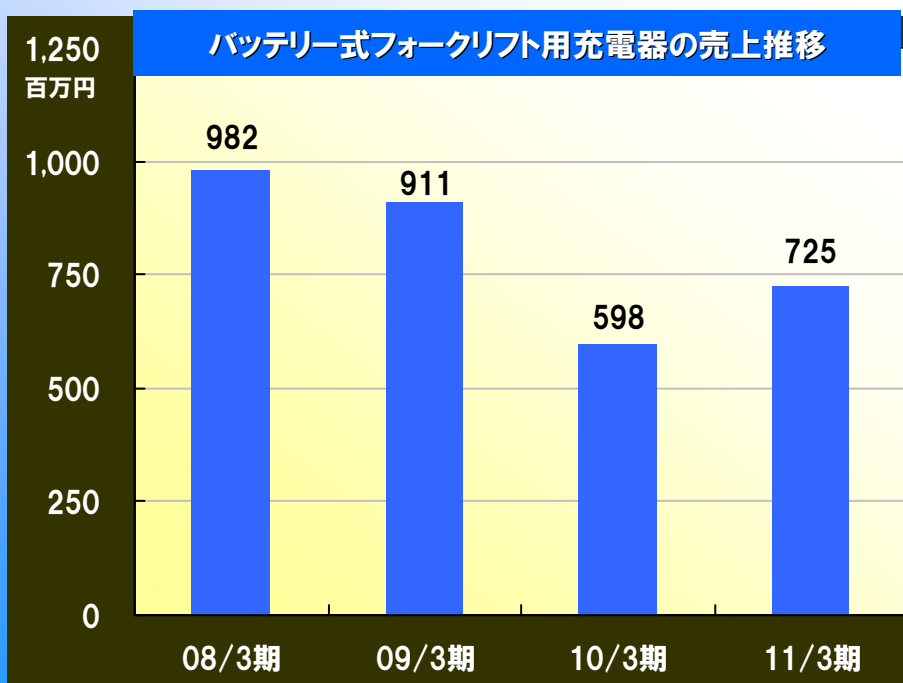
▶ 自動車用電装品向け基板(前期比: +1億42百万円)

▶ 電子機器向け基板(前期比: ▲9百万円)



バッテリー式フォークリフト用充電器

- 企業の設備投資の回復を背景に、フォークリフト販売台数も戻り基調
 ➡ バッテリー式フォークリフト販売台数：前期比+4,110台(+14.4%)
- 環境対応を背景に、フォークリフト業界でもバッテリー式の販売比率高まる
 ➡ 国内フォークリフト販売に占めるバッテリー式の比率(2010/3期:57.0%→2011/3期:57.8%)
- 今後も、バッテリー式の販売比率は高まる見通し
 ➡ 次世代電池対応に向けた開発推進



レシップ電子・プリント基板実装事業

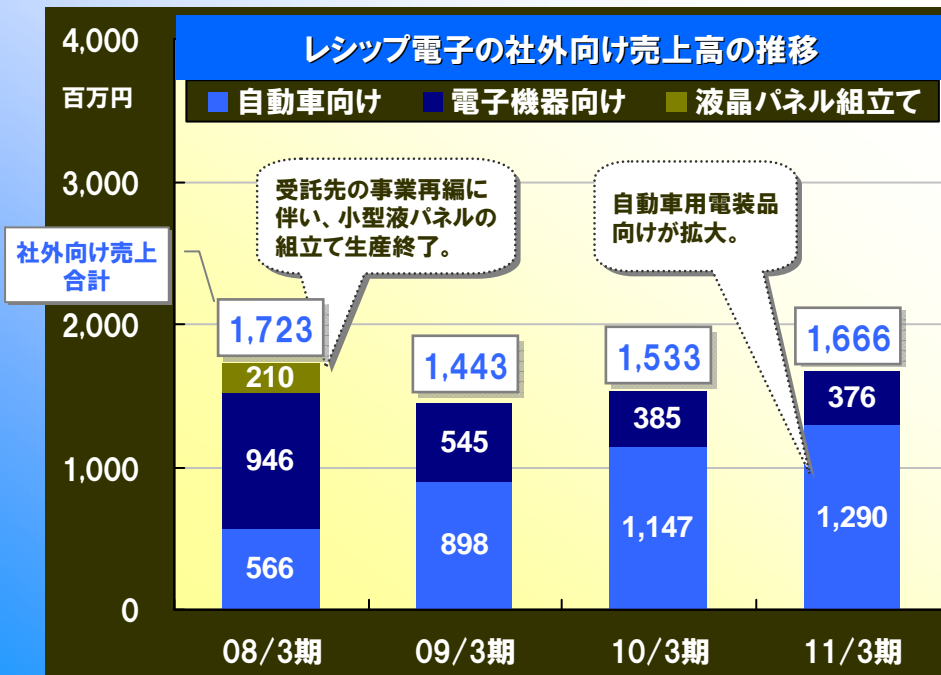
● 電子制御化進む自動車用電装品向け基板の需要に対応

● 社外向け売上高は、自動車用電装品向けが拡大

➡ 上期までの、エコカー補助金に伴う受注増が奏功

● 当社グループ内では重要な位置づけ

➡ 自社グループ内に基板実装ラインを有していることで、当社製品に使用される基板を安定的に調達できる強み
顧客の仕様にも柔軟かつスピーディに対応可能であり、高い信頼とご評価をいただく



レシップ電子・プリント基板実装ライン



連結損益の状況



【連結P/L】	2010年3月期		2011年3月期			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
売上高	13,585	100.0	12,551	100.0	▲1,034	
売上総利益	2,691	19.8	2,469	19.7	▲221	
販売管理費	2,661	19.6	2,348	18.7	▲313	人件費:▲212百万円、サービス費:▲50百万円、 広告宣伝費:▲17百万円、旅費交通費:▲16百万円
営業利益	29	0.2	121	1.0	+91	
営業外収益	81	0.6	63	0.5	▲17	不動産賃貸料:▲23百万円(持株会社体制移行に伴い、下期以降、売上高に計上)
営業外費用	46	0.3	30	0.2	▲16	支払利息:▲8百万円、賃貸収入原価:▲5百万円
経常利益	64	0.5	154	1.2	+90	
特別利益	46	0.3	93	0.7	+46	THAI LECIPの固定資産売却益: +47百万円、 賃貸不動産の中途解約違約金: +37百万円、 前期損益修正益:▲31百万円
特別損失	63	0.5	4	0.0	▲59	THAI LECIP閉鎖による減損損失:▲19百万円、 同現地従業員特別退職金:▲29百万円
税金等調整前純利益	46	0.3	243	1.9	+196	
法人税等合計	4	0.0	196	1.6	+191	法人税・住民税及び事業税、過年度法人税等 :+145百万円 レシップ電子の繰延税金資産取崩し: +45百万円
当期純利益	41	0.3	46	0.4	+5	

連結貸借対照表の主な増減項目



【連結B/S】	2010年3月期 期 末		2011年3月期 期 末			
	金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
流動資産	7,987	75.9	6,918	71.3	▲1,068	売上債権 : ▲1,273百万円、 繰延税金資産 : ▲ 116百万円、 現預金 : + 359百万円、 棚卸資産 : + 51百万円
固定資産	2,534	24.1	2,779	28.7	+244	有形固定資産 : ▲ 74百万円、 無形固定資産 : + 59百万円、 投資その他の資産: +259百万円
資産合計	10,521	100.0	9,698	100.0	▲823	
流動負債	4,324	41.1	3,485	35.9	▲838	短期借入金 : ▲660百万円、 仕入債務 : ▲410百万円、 賞与引当金 : ▲ 81百万円、 未払金 : +172百万円、 未払法人税等 : +120百万円
固定負債	908	8.6	937	9.7	+28	長期借入金 : + 14百万円
負債合計	5,232	49.7	4,422	45.6	▲810	
純資産合計	5,289	50.3	5,275	54.4	▲13	利益剰余金 : ▲ 48百万円
負債・純資産合計	10,521	100.0	9,698	100.0	▲823	

■ 1. 2011年3月期 業績概要・主な項目の進捗状況:P 4~P17

▶ 2. 2012年3月期 通期業績の見通し・配当の状況:P19~P21

■ 3. 中長期的な成長に向けた取り組み:P23~P30

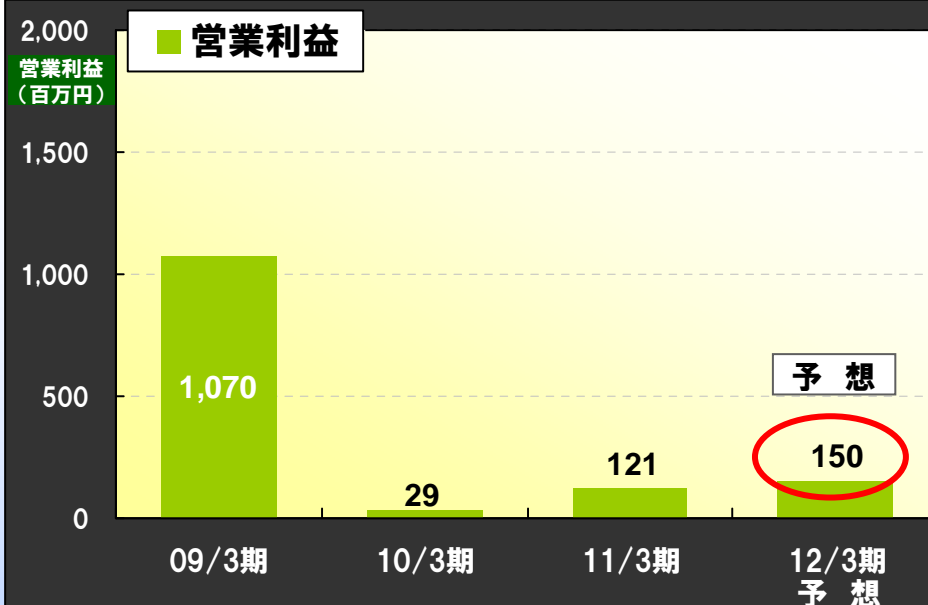
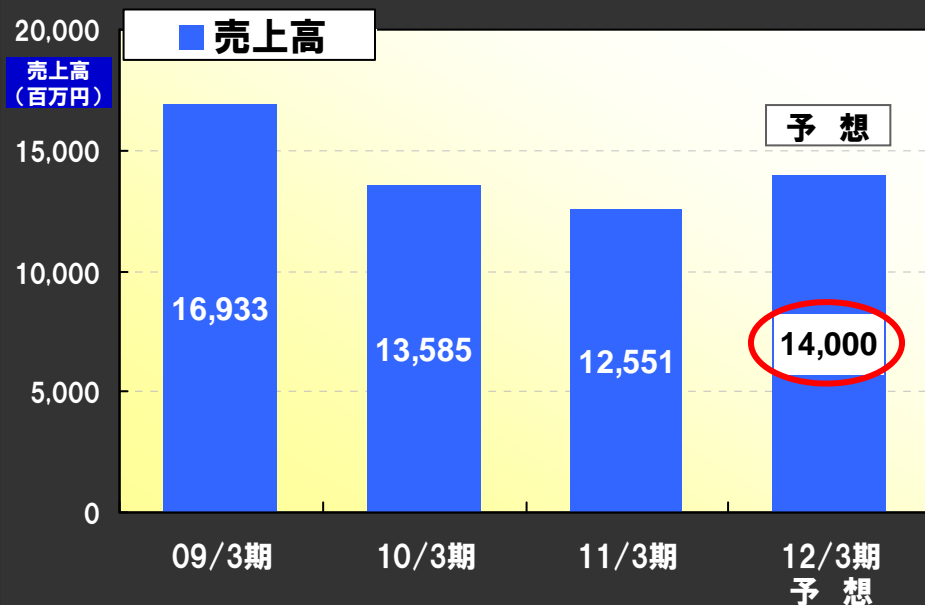
■ 【ご参考資料】:P32~P39

- 会社概要・事業内容・主なトップシェア製品
- 主な経営指標の推移
- 上期・下期別の業績推移
- 四半期ごとの業績推移






2012年3月期 業績見通し



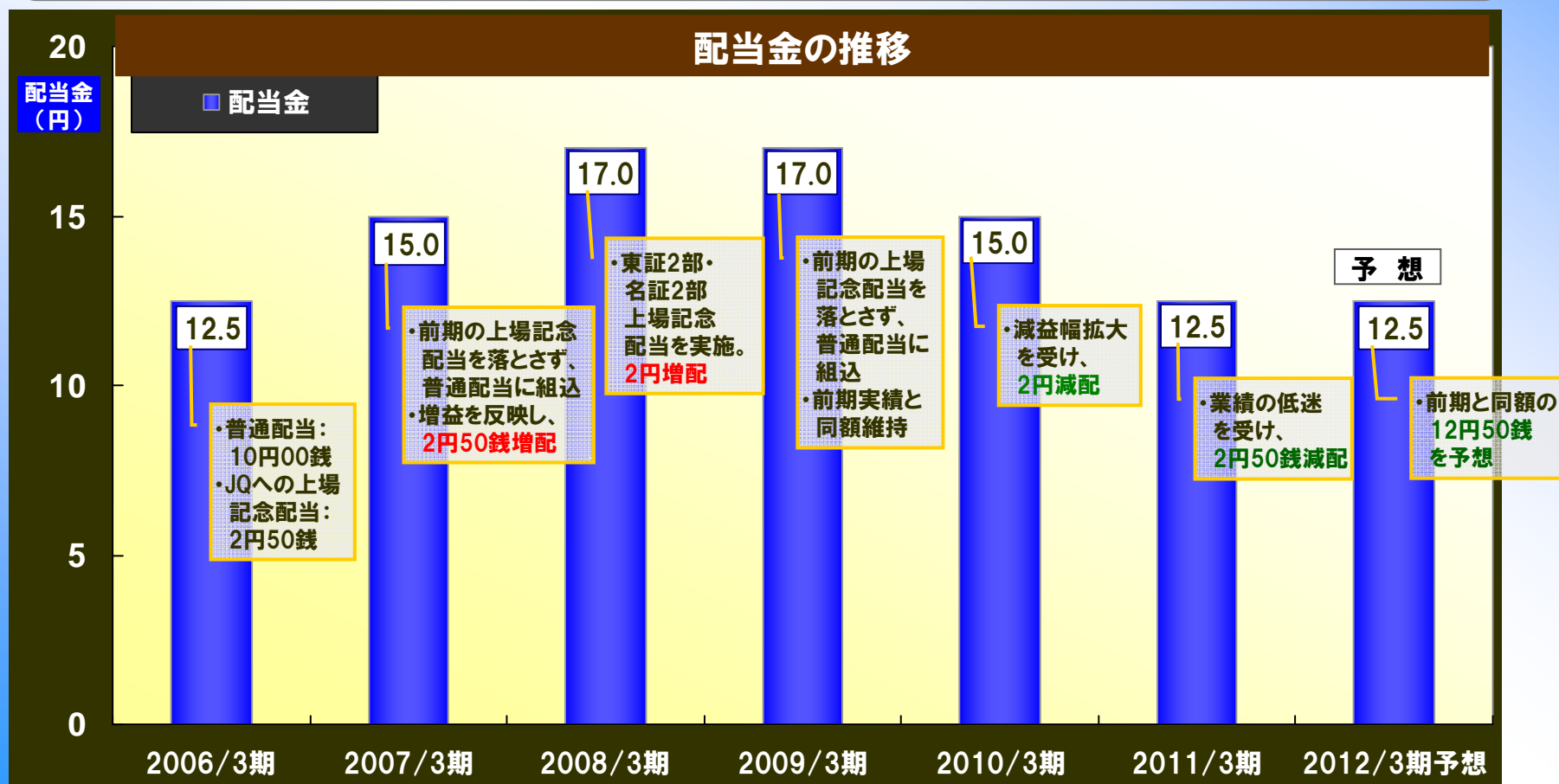
連結業績予想	2011年3月期 実績 (百万円)	構成比 (%)	2012年3月期 業績予想 (百万円)	構成比 (%)	前期比 増減額 (百万円)	前期比 増減率 (%)
売上高	12,551	100.0%	14,000	100.0%	+1,448	+11.5%
営業利益	121	1.0%	150	1.1%	+28	+23.8%
経常利益	154	1.2%	160	1.1%	+5	+3.3%
当期純利益	46	0.4%	77	0.6%	+30	+64.2%
E P S (円)	7円34銭	—	12円05銭	—	+4円71銭	+64.2%



業績予想のポイント:前期比:増収増益予想

セグメント	内 容	
輸送機器		<ul style="list-style-type: none"> ○ 車載用液晶表示器(OBC)や、バス停・バスターミナル用表示器等乗客運行情報伝達システム(PIS)関連の拡販に注力
		<ul style="list-style-type: none"> ○ シンガポール向け料金箱、LED式行先表示器等の納入に加え、北米向け自動運賃収受システム(AFC)関連、鉄道車両用灯具等海外案件の受注活動を一層強化
		<ul style="list-style-type: none"> ○ バス・鉄道・自動車用LED灯具の拡販
S&D		<ul style="list-style-type: none"> ○ 節電・省エネ意識の高まりからLED照明の導入が増えつつあるなか、LED電源や、蛍光灯型LED灯具等のLED関連製品の拡販を推進
産業機器		<ul style="list-style-type: none"> ○ バッテリー式フォークリフト用充電器、無停電電源装置等の増加 ○ 連結子会社レシップ電子の、産業用電源向け基板の増加

- 2011年3月期の配当は、**2円50銭の減配**となる**12円50銭**
- 2012年3月期の配当予想も、引き続き、**12円50銭を維持**
- 継続的かつ安定的な利益還元に努める



- 1. 2011年3月期 業績概要・主な項目の進捗状況:P 4～P17
- 2. 2012年3月期 通期業績の見通し・配当の状況:P19～P21
- ▶ 3. 中長期的な成長に向けた取り組み:P23～P30

- 【ご参考資料】:P32～P39
 - 会社概要・事業内容・主なトップシェア製品
 - 主な経営指標の推移
 - 上期・下期別の業績推移
 - 四半期ごとの業績推移

—2010年度～2012年度:中期経営計画—

【 **CE2012** 】

CE = **C**omfortable **E**veryday 「快適な日常」

【経営理念】

「省エネルギー」・「地球環境対応」・「セキュリティ強化」を通じて、
快適な日常を実現するための製品・サービスを社会に提供する。

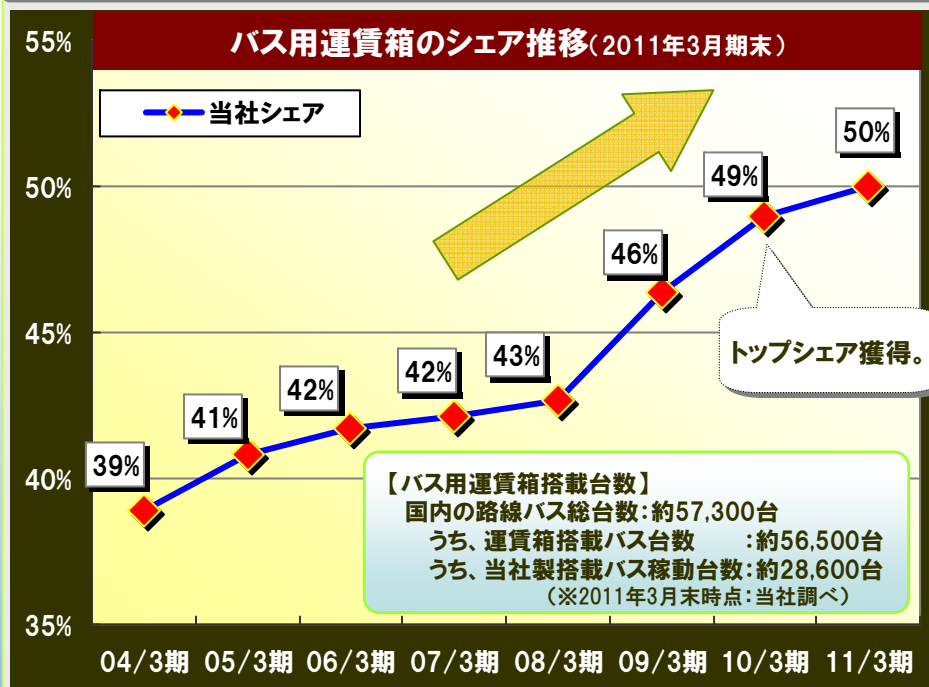
【重点課題】

- 新商品開拓への力強い熱意
- 五つの総ての市場での海外展開
- コスト競争力の強化

【2011年度の重点施策】

- 国内外におけるAFC(Automated Fare Collection System:自動運賃収受システム)のシェアアップ
- PIS(Passenger Information System:乗客運行情報伝達システム)事業をAFC事業と並ぶ二つ目の柱とする
- LED関連製品の拡販
- 海外市場での、確実な売上の確保

AFC(自動運賃收受システム)のシェアアップ



- 2010年3月期に、シェア逆転し、初めてトップシェア獲得。2011年3月期も続伸
 ➡ 期末時点でのシェア：約50%
- 運賃箱の薄型化と、高額紙幣への対応を実現。得意とするICカードシステムの普及拡大も追い風
- 車載機器中心のメーカーから「自動運賃收受総合システム会社」へ脱皮し、売上の拡大を図る
 ➡ 後方の精算システムや、乗客の乗降実態分析システム等を包括したトータル・システムの提供に注力

PIS事業の推進

● バス車内で



【表示例】



多くの有益な情報をリアルタイムで配信

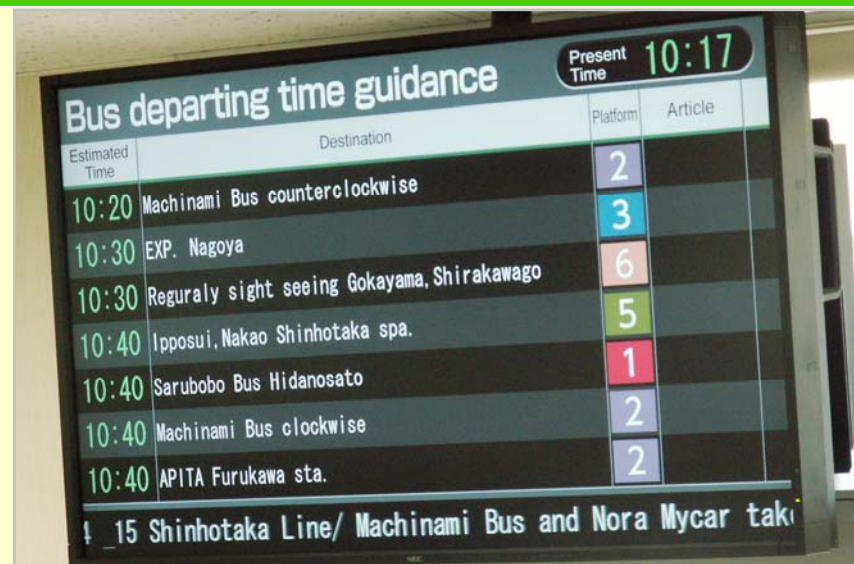
- ▶ バス接近表示情報
- ▶ 乗換・接続の案内
- ▶ 周辺施設の案内
- ▶ 遅延・運休情報
- ▶ ニュース・CM
- ▶ 緊急情報 (事故、火災、地震、気象)
- ▶ 災害情報 (避難指示、安全、消息情報)

● 駅・バスターミナル・バス停 等で



PIS事業の推進

● バス車内・バスターミナルでの多言語表示事例



路線バスにおけるデジタルサイネージ「バスチャンネル」事業の推進



▶ 表示内容は、リアルタイムに更新可能

公募による135人の

岐阜新聞ニュース

岐阜県美濃(岐阜)

今日	明日				
15℃~17℃	6℃~14℃				
晴	晴				
降水確率(%) 7/10/50	降水確率(%) 30/20/10/10				
08(水)	09(木)	10(金)	11(土)	12(日)	13(月)

各務原市の河川環境楽園で、ハンゲショウが見ごろを迎えている。7月中旬ごろまでが見ごろ。

NEWS! 天気予報 CM 地域情報 イベント クイズ 緊急情報

- 路線バスにおける「デジタルサイネージ事業」に参入
 - ▶ バス車内に、液晶表示器を設置して、動画広告・ニュース・天気予報等を表示
 - ▶ 地域密着型の情報配信サービスとして、新たな情報配信ツールとしての効果が期待できる
- パケット通信を利用して、表示内容のリアルタイム更新が可能
 - ▶ 路線や時間帯、客層に合わせた効果的な情報配信も可能に
- 岐阜新聞社様と共同で、デジタルサイネージに特化した新会社(運営管理会社)を設立
 - ▶ 出資比率:当社 60%、岐阜新聞社様 40%
 - ▶ 当社が持つ液晶表示器OBCの技術、岐阜新聞社様が持つ広告・宣伝のノウハウ、ニュース等のコンテンツとの融合による、新たなビジネス展開

LED関連製品の拡販

● LED電源と蛍光灯型LED灯具



● ソーラー式LED照明



● 車載用LED灯具



- **節電・省エネ意識の高まりから、照明分野におけるLEDの採用が活発化**
 - ▶ 店舗やオフィス等の屋内照明や屋外看板、バス停などの屋外照明、バス・鉄道・自動車の車載照明の分野で、LED関連ビジネスを展開
- **当社製品の強みは、優れた「耐久性」**
 - ▶ 長年の、屋外向け、車載向け等、厳しい使用環境向けの製品開発を通じ、多くのノウハウを蓄積
- **長寿命のLEDでは、製品の「耐久性」もポイント**
 - ▶ 優位性を活かした、高品質の製品開発と拡販戦略を推進

海外市場展開の強化

【これまでの主な納入実績】

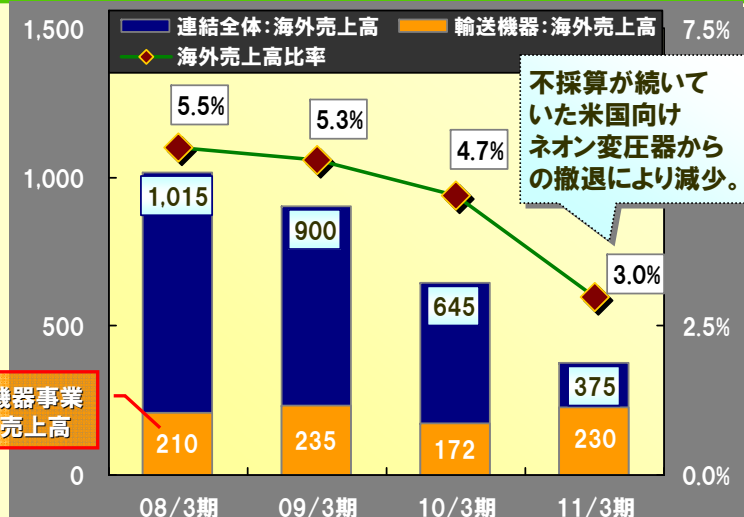
- シンガポール
:バス用磁気カードシステム、料金箱、発券機、表示器、バス総合運行管理システム
- マレーシア:磁気カードシステム
- 香港:ICカードリーダー
- 中国:鉄道用蛍光灯具 等々

【現地法人】

- LECIP INC.
本社:イリノイ州
事務所:ニューヨーク



- 主力の輸送機器事業を中心に、海外市場展開を強化
- バス市場向け製品では、シンガポール・香港等アジア地域への営業強化に加え、北米市場の開拓に注力
- 北米市場での受注獲得に向けた体制面を整備
 - ▶ 現地販売子会社LECIP INC.設立。複数名の現地セールスマネジャー採用
 - ▶ 北米バス市場向け運賃箱の試作機完成
- 鉄道市場向け製品でも、車両用灯具での参入を図るべく、海外案件の受注活動と、製品開発を推進
 - ▶ 受注拡大続く日本の車両メーカー様と、現地事業者様へのアプローチ継続



海外市場展開の強化

● 北米バス市場向け運賃箱の開発



- 海外向け運賃收受システムを専門に開発する部署を立ち上げ、
現地のニーズに即した北米市場向け製品を開発
 - ▶ ドル紙幣・クレジットカード決済への対応
- 技術力でのアドバンテージを活かし、現地メーカーとの差別化を図る
 - ▶ 国内向け製品の開発で培った処理スピードが速い運賃自動計数機能や、視認性の高い液晶表示機能を搭載
- 現地での販売体制面の強化と、北米市場向け製品の開発を足がかりに、海外市場展開を加速

1. 2011年3月期 業績概要・主な項目の進捗状況:P 4~P17

2. 2012年3月期 通期業績の見通し・配当の状況:P19~P21

3. 中長期的な成長に向けた取り組み:P23~P30

▶ **【ご参考資料】**:P32~P39

- 会社概要・事業内容・主なトップシェア製品
- 主な経営指標の推移
- 上期・下期別の業績推移
- 四半期ごとの業績推移

会社名	：レシップホールディングス株式会社（LECIP HOLDINGS CORPORATION）
設立	：1953年3月
代表者	：代表取締役社長 杉本 眞
本社所在地	：岐阜県本巣市上保1260番地の2
連結従業員数	：453名（2011年3月末現在）
資本金	：7億3,564万円
発行済株式総数	：6,399,100株
上場証券取引所	：東京証券取引所市場第2部、名古屋証券取引所市場第2部
証券コード	：7213
連結子会社	：レシップ株式会社 ：レシップエスエルピー株式会社 ：レシップ電子株式会社 ：レシップインターナショナル株式会社 ：レシップエンジニアリング株式会社 ：LECIP U.S.A.,INC. ：THAI LECIP CORPORATION LIMITED

■ 輸送機器事業

■ S & D(サイン&ディスプレイ)事業

■ 産業機器事業

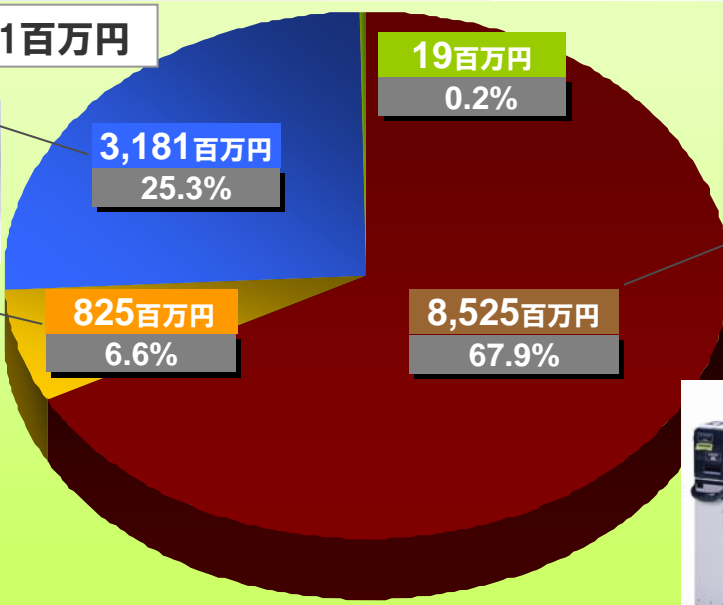
【ご参考】2011年3月期 通期の事業セグメント別売上高

2011/3期 連結売上高:12,551百万円

【産業機器事業】
充電器、無停電電源装置、
物販共用読み取り端末、
プリント基板実装



【S&D事業】
LED電源、蛍光灯型LED灯具
ネオン変圧器、
屋外用電子安定器、CCL



■ 輸送機器
■ S & D
■ 産業機器
■ その他

【輸送機器事業】
バス・鉄道用運賃箱、
ICカードシステム、
OBC(液晶表示器)、
LED式行先表示機器、
車載用照明機器



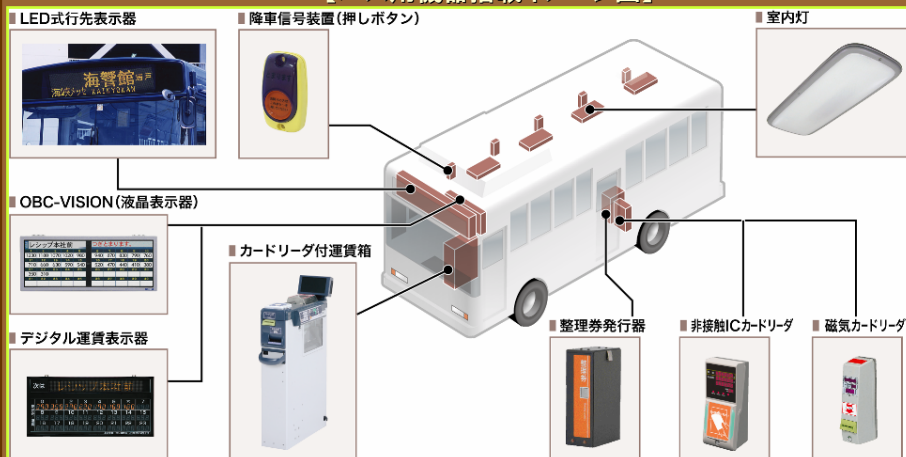
輸送機器事業

● バス市場向け製品



- 国内唯一の、「バス用電装機器トータルサプライヤー」ワンストップソリューションを実現
- バス用ICカードシステムのパイオニア
- 多くの製品で国内トップシェアを獲得

=====【バス用機器搭載イメージ図】=====



● 鉄道市場向け製品



- ワンマン鉄道用機器と、車両用灯具を展開
- 鉄道用ワンマン機器は、国内90%以上のシェアを獲得

● 自動車市場向け製品



- 自動車用蛍光灯具のパイオニア、国内トップシェアを獲得
- LED灯具・LED電球の拡販推進

S&D事業



LED電源

(巻線式) ネオン変圧器 (電子式)



CCLのご採用事例

東京・銀座

横浜・みなとみらい

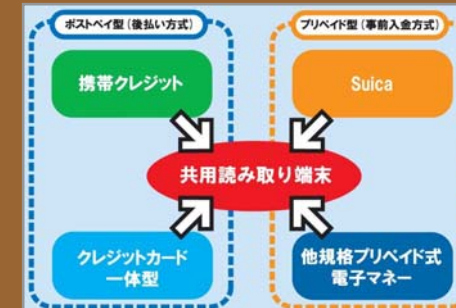
CCL (Cold Cathode Lamp)

- 不採算が続いていた米国向けネオン変圧器から撤退
- LED電源、蛍光灯型LED灯具の拡販推進
- 建築・施設照明向けライティングシステム・CCLを展開

産業機器事業



フォークリフト用充電器



物販共用読み取り端末



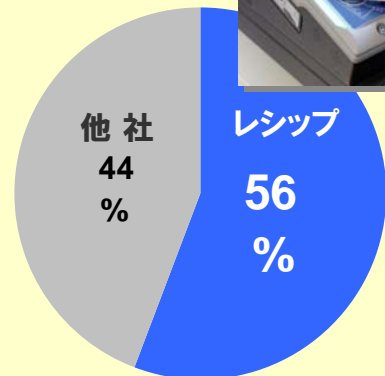
プリント基板実装ライン



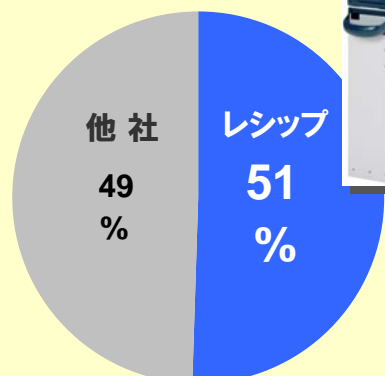
- フォークリフト用充電器で国内トップシェアを獲得
- 複数規格の電子マネーに対応する物販共用読み取り端末の開発・製造
- 連結子会社 レシップ電子において、プリント基板実装事業を展開

【ご参考】：主なトップシェア製品

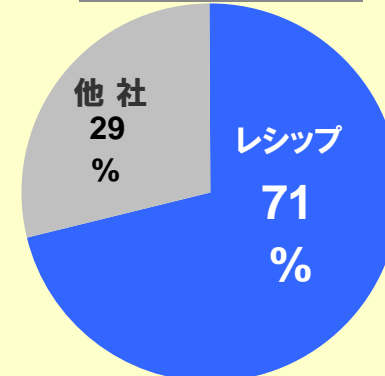
バス用ICカードシステム



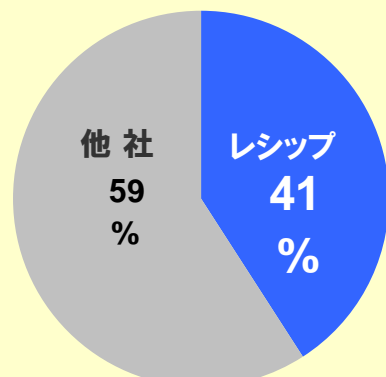
バス用運賃箱



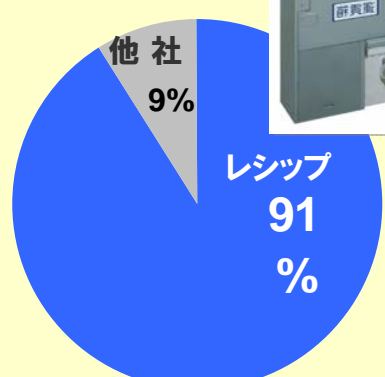
バス用液晶表示器



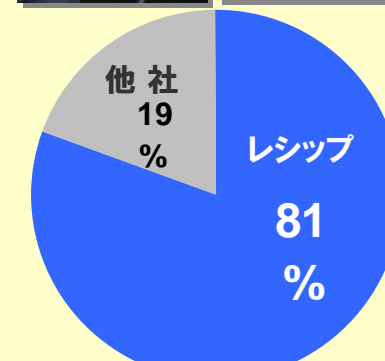
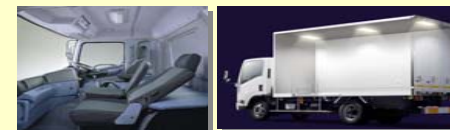
バス用LED式行先表示器



ワンマン鉄道用運賃箱



トラック用蛍光灯具



【ご参考】: 主な経営指標の推移



(単位: 百万円)

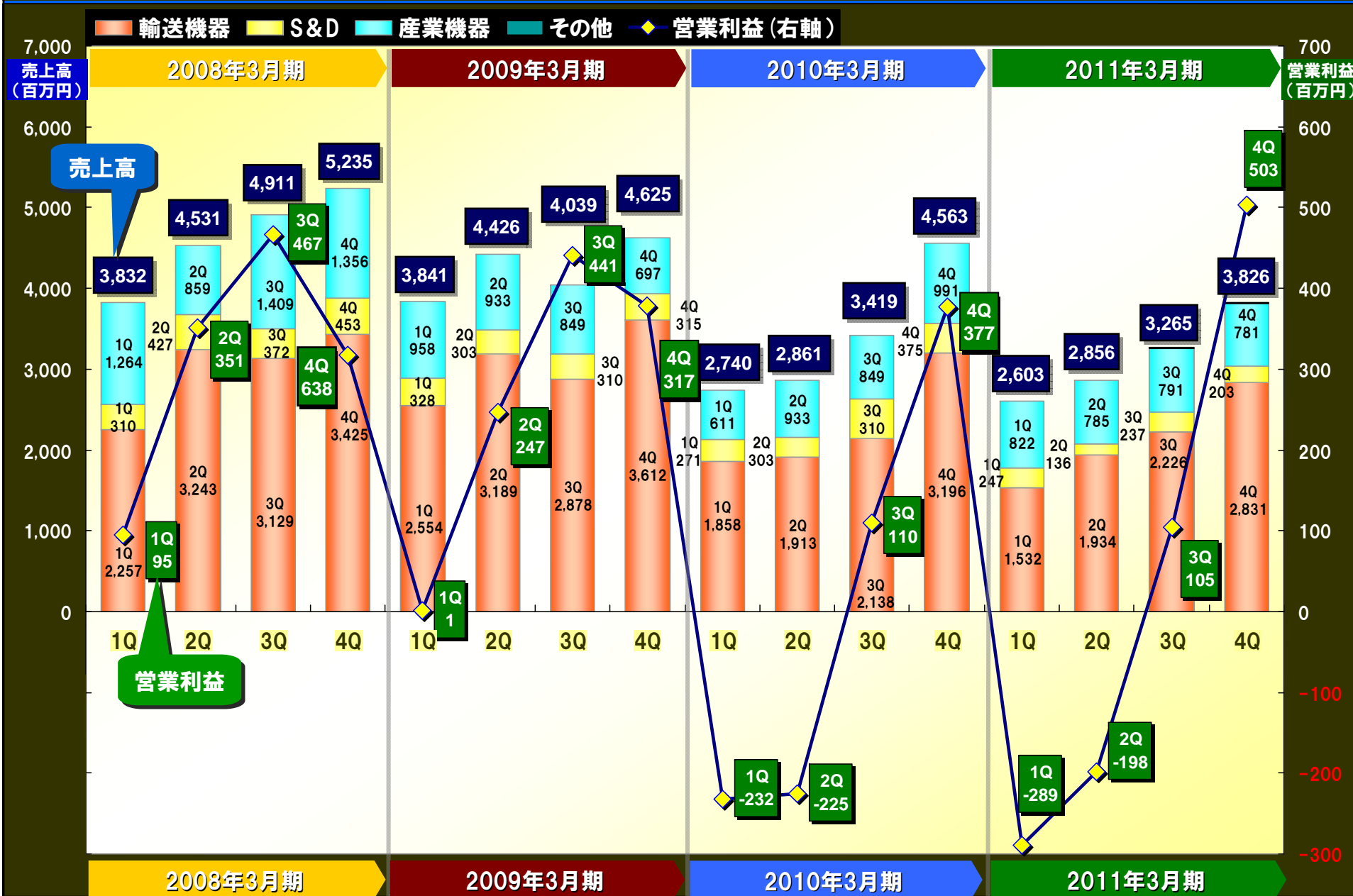
主な経営成績 指標の推移	2004/3期	2005/3期	2006/3期	2007/3期	2008/3期	2009/3期	2010/3期	2011/3期	2012/3期 予想
売上高	15,717	16,346	17,233	17,572	18,511	16,933	13,585	12,551	14,000
営業利益	400	1,122	1,089	1,189	1,232	1,070	29	121	150
営業利益率(%)	2.5	6.9	6.3	6.8	6.7	6.3	0.2	1.0	1.1
経常利益	390	1,124	1,086	1,191	1,208	1,104	64	154	160
経常利益率(%)	2.5	6.9	6.3	6.8	6.5	6.5	0.5	1.2	1.1
当期純利益	▲100	654	622	668	686	521	41	46	77
当期純利益率(%)	▲0.6	4.0	3.6	3.8	3.7	3.1	0.3	0.4	0.6
総資産	10,267	10,529	10,512	11,533	11,470	10,417	10,521	9,698	—
純資産	1,888	2,519	3,895	4,408	4,995	5,339	5,289	5,275	—
自己資本比率(%)	18.4	23.9	37.1	38.2	43.5	51.2	50.3	54.4	—
EPS(円)	▲18.05	107.70	96.29	104.68	107.38	81.61	6.55	7.34	12.05
ROE(%)	—	29.7	19.4	16.1	14.6	10.1	0.8	0.9	—
BPS(円)	338.36	441.66	599.65	689.82	781.66	835.49	827.65	825.60	—

※2004年3月期につきましては、退職給付制度改革を実施し、確定拠出年金制度への全面移行に伴い、退職給付制度変更損失: 397百万円を計上したため、当期純損失となっております。

【ご参考】：上期・下期別の業績推移



【ご参考】：四半期ごとの業績推移



LECIP

GROUP

レシップホールディングス株式会社

【資料お問合せ先】

IR担当役員：常務取締役 山口 芳典

電話番号：(058)323-7647

IR担当者：人事総務部兼経営管理部 野村 武史

電話番号：(058)324-3121

【将来予測について】

本資料のうち業績見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と異なる結果となり得ることをご承知おきください。